

# IC法によるSi含有溶液中のTMAH分析事例

IC(イオンクロマトグラフ)法でアミン類の測定が可能です

測定法 : IC

製品分野 : 太陽電池・LSI・メモリ・製造装置・部品・環境

分析目的 : 微量濃度評価・劣化調査・信頼性評価・製品調査

## 概要

水酸化テトラメチルアンモニウム(TMAH)は、半導体の現像液やエッチング液として用いられています。Siのエッチング液に用いたTMAH溶液の濃度を測定する場合、溶液中に多量に溶解したSiが夾雑物となり、測定結果に影響を与える場合がありますが、IC(イオンクロマトグラフ)法による評価ではSiの影響を受けることなく、TMAH濃度の定量分析が可能です。

## データ

Siを0.4~10mg/L含有した場合の10 mg/L TMAH溶液の濃度を評価しました。

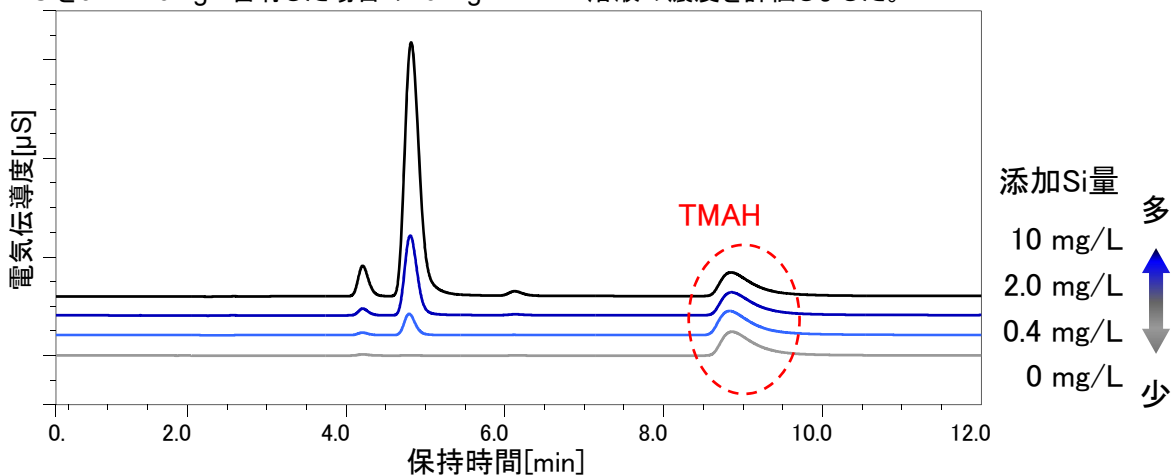


図1 クロマトグラム

表1 測定結果

Si量 (mg/L)	TMAH算出濃度 (mg/L)
0.0	10.1
0.4	10.2
2.0	10.2
10	10.2

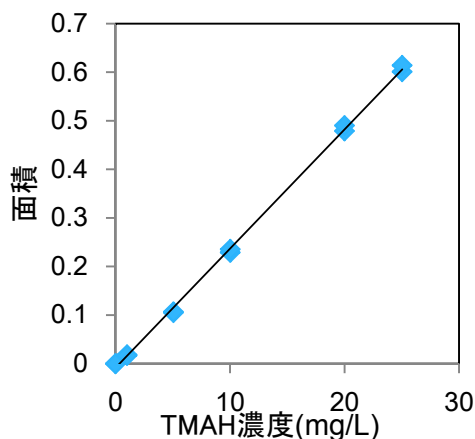


図2 検量線

Si含有量に関わらずTMAH濃度の評価が可能です。

分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート！

一般財団法人  
**MIST** 材料科学技術振興財団

TEL : 03-3749-2525 E-mail : info@mst.or.jp  
URL : <http://www.mst.or.jp/>